



内子座

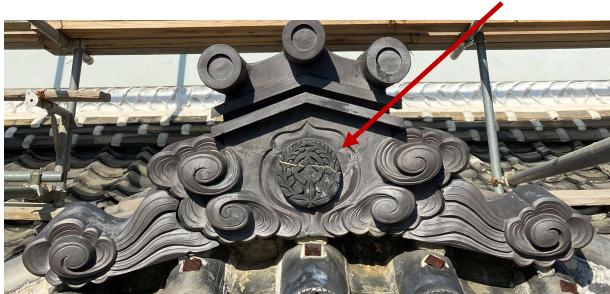


藝於遊



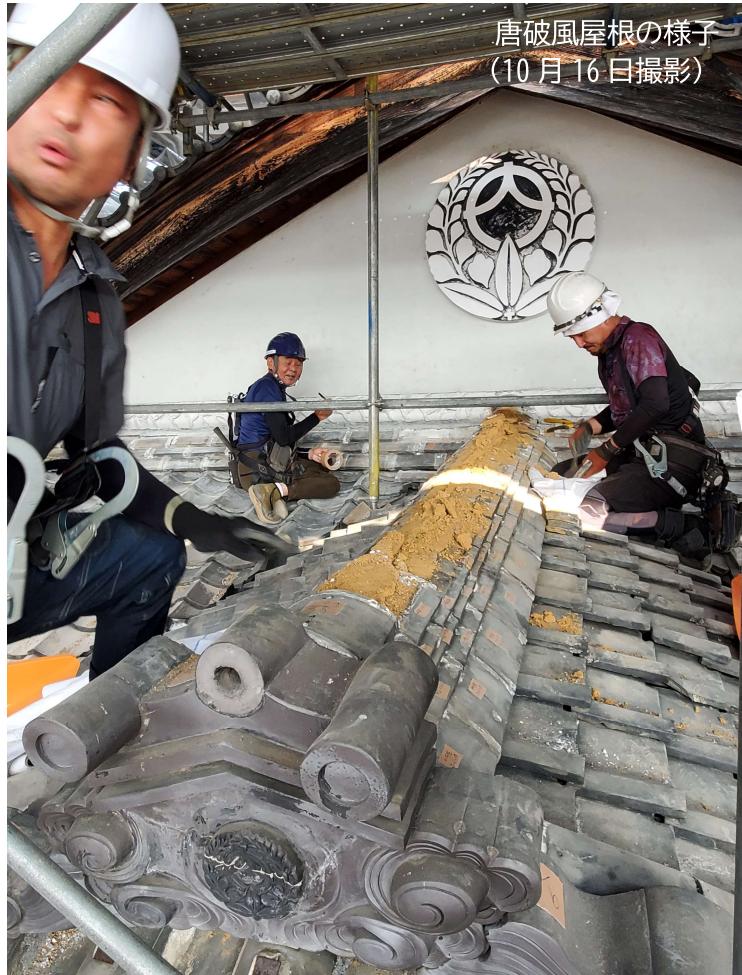
瓦の取外し④

令和7年10月16日、この日取り掛かったのは唐破風部分の屋根。太鼓櫓、大屋根鬼瓦とともに内子座を印象付ける部分であり、目線にも近いことから、正に内子座の顔といえる部分です。鬼瓦などが取り外されました。この鬼瓦の紋章部分は大正時代のオリジナルが残されています。色が違うのがわかりますね。



▲内子座の紋章部分のみが他よりも少し黒ずんでいる。

これまでと同じように番付、層出し、記録、そして取外し作業と、スムーズに進んでいきます。作業が終わったのが右の写真。なんだか内子座が照れているよう見えます。



アート幕取付



保存修理工事中の内子座を楽しんでもらおうとアート幕を準備し、10月17日のお披露目会に向け、取付作業を行いました。“チーム私たち”的メンバーで素人ながらも何とか作業を終えました。あわせて内子座の上り藤の紋章をあしらった幕も用意し、素屋根足場の妻部分に取り付けました。遠くからしか見えませんが、こちらもお見逃しなく！

